



TITLE:

米國聯邦農地貸附法

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

CITATION:

河田, 嗣郎. 米國聯邦農地貸附法. 經濟論叢 1917, 4(5): 772-780

ISSUE DATE:

1917-05-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127196>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號五第 卷四第

行發日一月五年六正大

論說

經濟的行爲と道德的行爲とノ關係(一).....

法學博士

田島錦治

奢侈税ノ辯難.....

法學博士

神戸正雄

きんぐノ法則と米麥價.....

法學士

河田嗣郎

經濟心理學ノ組織の研究(四、完).....

.....

米田庄太郎

支那經濟思想ノ出發點(二、完).....

法、文學士

小島祐馬

時事問題

貿易ニ對スル金融ノ改善.....

法學博士

戸田海市

支那關稅引上と日本ノ紡績業.....

法學博士

神戸正雄

雜錄

米國ノ海外放資力.....

法學博士

神戸正雄

獨領植民地ノ處分問題.....

.....

山本美越乃

移民と米國ノ勞働.....

.....

米田庄太郎

米國聯邦農地貸附法.....

法學士

河田嗣郎

米國聯邦農地貸附法

河田 嗣郎

一 北米合衆國ニ在ツテハ、商業金融ノ好ク發達セルニ拘ラズ、農業金融ノ未ダ甚ダ不整備ナルモノアリ、爲メニ、資金ハ潤澤ニシテ然カモ貸借ノ擔保タル可キ土地ノ如キモ廣大無邊ナルニ拘ラズ、農民ハ從來常ニ金融ノ便ヲ得ルノ難キニ苦ムダ。從來ト雖ドモ成程土地抵當信用ノ行ハレザルニハ非ズ、此道ニ依リテ融通サレタル資金ノ額ハ凡ソ三十五億弗以上ニ及ブトセラルル所デハアルガ、然シ彼ノ年賦濟崩法ノ如キニ依ツテ農業上ノ資金貸借ノ行ハルルガ如キコトハ殆ンド之ヲ見ルニ由ナク、農業金融上ノ此ノ目的ノ爲メニ特別ナル金融機關ノ設ケラレタルモノナク、農民ハ長期低利ナル資金ヲ得ルヲ必要トスルニ、金融機關トテハ普通銀行シカ之レ無キ次第ナレバ、到底能ク十分ニ長期低利ナル融通ヲ得ルノ便ナク、農業者ハ甚ダ之ヲ苦痛ト

シタ次第デアル。

右ノ事情ハ北米合衆國ノ農業經濟ニ在ツテハ洵ニ大イナル缺陷デアツテ、啻ニ農生産者ノ私經濟上ノ不便タルノミナラズ、又實ニ國民經濟上ノ大損失タルヲ免レ得ナカツタ。茲ニ於テカ此大イナル欠點ヲ補ハントスルノ希望ハ夙ニ識者ノ間ニ表ハレ來リ、又之ガ實行方法モ漸次講究セララルニ至ツテ、一九一二年頃ヨリハ農業抵當信用制度ノ制定ニ關スル具體案ノ立テラルルコトトナリ、民主、共和兩黨トモ之ニ對シテハ頗ル同情ヲ持チ、其ノ必要ヲ認ムル點ニ於テハ優劣ヲ見ザル有様トナツタ。斯クテ問題ハ委員會ノ手ニ於テ討究熟議ノ末終ニ昨年五月議會ヲ通過シ、七月十七日ヲ以テ大統領ノ裁可ヲ得テ聯邦農地貸附法 The Federal Farm-Loan Act ナルモノノ發布ヲ見ルニ至ツタ。

吾人ハ今此ノ新タニ制定セラレタル米國ノ聯邦農地貸附法ノ大要ヲ紹介セムトスル者デアルガソノ内容ニ入ルニ先チ少シク、從來ニ於ケル米國ノ農業金利其他ニ就イテ略說スルノ要アルヲ

見ル次第デアル。

二 農務省ノ調査ニ從ヘバ、北米合衆國ニ於ケル從來ノ土地抵當信用ノ利子ハ甚ダ低安ナラザルモノデアアル。即チ年利六ル^ト云フ利子ヲ以テ貸借ノ行ハルル所ハ、僅カニ紐育州、にゅー、せゐるしー州及べんしるふあにあ州ニ過ギズシテ、にゅー、いんぐらんどノ如キ資本ノ潤澤ナル所ニ於テスラ六歩以上ナルヲ普通トシ、おはいお、いんぢあな、いりのいす其他諸州ノ如キハ六歩以上八歩以下ナルヲ例トシ、ねぶらすか、きあんさす其他諸州ノ如キハ八歩以上一割以下ナルヲ大多數トシ、或地方ノ如キハ一割一分ニ及ビ、特ニおくらほまノ如キニ在リテハ一割ト云フ低金利率ヲ有スル地方ハ之ヲ見ルニ由ナク其他或地方ノ如キハ實ニ平均一割四分四厘ニ及ブノ有様デアアル。從テ此ノ地方ノ如キニ在リテハ「コムミツシヨン」ヲ加算スレバ利子一割九分ニ及ブト云フ實狀ヲ呈スル次第デアツタ¹⁾。

利子ガ斯ノ如ク高貴ナル上ニ又、前ニ一言シタル如ク從來ハ元利割賦濟崩ノ法ニ依ル貸借ハ殆

1) R. J. Bulkley, The Federal Farm-Loan Act, (The Journal of Political Economy, Vol. XXV, No. 2, Feb. 1917, p. 130)

ンド行ハルル所ナク、遇々其ノ行ハルルヲ見ル場合ニモ其ノ償却期限ハ餘リニ短キニ過ギ、屢屢契約ノ更新ヲ爲スヲ必要トシ、其ノ都度手数料其他ノ費用ノ大ニ嵩マルヲ例トシタノデアル。右ノ如キ有様デアルカラシテ米國ノ農地ハ十分ニ且ツ有効ニ之ヲ資金化スルコトガ困難デアリ從テ農民ハ資金缺乏ノ爲メ十分土地ノ改良ト利用トヲ行フコトガ出來ナカツタノデアル。サレバ即チ今農地ニ對スル抵當信用ノ制ヲ定メ廣ク農地ヲ資金化スルノ道ヲ開キ與フルコトハ、實ニ之レ國民經濟上ノ重要問題デアリ、之ニ依ツテ十分ナル土地改良ノ行ハルルヲ得ル資金融通ノ道ヲ拓キ、又土地利用ヲ十二分ニシテ其ノ生産能率ヲ増進セシムルヲ得ルニ足ル資金調達ノ道筋ヲ付ケルト云フコトハ、國民食料ヲ充分ニシ其ノ輸出能力ヲ増加セシムルニ與ツテ大ニ力アルハ勿論ノコト、又信用制度ノ完備セラルルノ結果トシテ自作農ニ便宜ヲ與ヘ其ノ數ノ増加ト其ノ地位ノ維持改善トヲ爲スヲ得セシムルニモ貢獻スル所ナキヲ得ザル次第デアル。

猶又之ニ因リテ農民ノ村落ヲ捨テ、都會ニ流入スルノ勢ヲモ多少トモニ阻止スルヲ得可キ譯合デアル。凡ベテ此等ノ事情ト必要ト希望トハ終ニ此ノ新タナル農地抵當貸附法ノ制定ヲ促セル理由デアツテ、然カモ其ノ制定サル可キモノトスルニ於テハ、之ヲ國家的ノモノトナシ、北米合衆國全體ニ渡ル法制ヲ造リ、統一アル包括的ノモノトスルニ於テ最モ有効ナルヲ得可キモノトセラレタノデアル。之レ即チ新農地貸附法ガ聯邦共通ノモノトセラレタル所以デ、各州隨意ニ之ヲ定ム可キモノトハセラレナカツタ。然シ乍ラ扱テ愈々之ガ制定ヲ爲シ、聯邦共通ノ貸附法ヲ造ルト云フコトトナツテ見ルト、色々ノ困難ハ這間ニ生ジ來ラザルヲ得ナカツタ。即チ先ヅ第一ニハ立法行政上ニ於テ各々頗ル獨立的ナル地位ヲ有スル諸州ニ共通ナル法規ヲ造ルコトノ困難ナル事情アルニ加ヘテ、氣候、土地、作物、所有ノ狀態、耕作ノ方法等ニ於テ頗ル實狀ヲ異ニスル諸地方ニ均シク當嵌マル方法ヲ立テナケレバナラヌ困難ガアツタ。次ニハ又從來

全ク組合の精神ヲ缺如シ頗ル個人主義のナル米國ノ農民ニ對シテ、組合精神ニ基ク組織ヲ當嵌メルノ困難ガアツタ。次ニハ又銀行ノ仲介ニ依リ銀行業務トシテ貸附ノ行ハルコトニ對スル反感ニ打克チ其ノ仕組ヲ以テ事ヲ行ハシメナクレバナラヌ困難ガアツタ。次ニハ又貸手ト借手トヲ双方トモ満足セシムルニ足ル可キ公正ナル土地價格ノ鑑定ヲ爲ス可キモノトスルコトニ伴フ困難ガアツタ。次ニハ又多ク土地ノ價ヲ傷クルコトナクシテ然カモソレニ對スル貸附ノ利子ハ成ル可ク之ヲ低安ナラシメザル可ラザル困難ガアツタ。更ニハ又從來殆ンド割賦濟崩法ノ貸借ノ行ハレザルモノニ對シテ今ヤ頗ル長期ナル貸借制ヲ布カナケレバナラヌ困難ガアツタノデアル。總テ此等ノ困難ヲ切抜ケテ有效ナル法規ヲ定メナケレバナラヌ次第デアツタガ爲メニ、新農地貸附法ハ實ニ尨大ナル法律トナルヲ避ケ難カツタノデアル。²⁾

三 其ハ兎モ角トシテ、扱テ進ムデ少シク此ノ新タニ設ケラレタル聯邦農地貸附法ナルモノノ

内容ニ就イテ見ルニ、農地貸附ニ關スル一切ノ管理事務ハ農地貸附局 Farm-Loan Board ニ依リテ管掌セララルコトトナツテ居リ、農民ニ對スル貸附ノ業務ハ十二若クハ其以上ノ土地銀行ノ設立ニ依リテ之ヲ行ヒ、而シテ貸附ヲ受ケントスル農民ハ農地貸附組合 Farm-Loan Association²⁾ヲ組織シ組合的ニ之ヲ爲ス可キモノトセラレテアル。即チ農地貸附ノ事業ハ此ノ三段ノ組織ヲ骨子トシテ行ハルモノトセラレ、新法ハ之ニ關スル精細ナル規定ヲ設ケテ居ルノデア

ル。
先ヅ農地貸附局ハ大藏省内ノ一局トセラレ、(第三條)大藏大臣外四名ノ委員ニ依リテ組織セラルル。此ノ四名ノ委員ハ元老院ニ諮詢シテ大統領ノ任命スル所デアルガ、同一政黨ヨリ二名以上ヲ任命スルコトヲ得ザルモノトセラレテアル(同條三)。又委員ハ其ノ職務ニ従事スル間ハ金融業務ニ關與シ又ハ土地抵當貸附若クハ土地賣買ノ業務ヲ營ムコトヲ得ザルモノ(同條四)デア

2) ditto, pp. 136-137

受理シ又其他ノ事務ヲ遂行スルタメ、各土地銀行管區(後出)ニ各一名ノ農地貸附管理官ヲ任命シ、又各一名若クハ以上ノ鑑定官及必要ト認ムル員數ノ土地銀行検査官ヲ任命ス可キモノトセラレテアル(同條^(三))。

農地貸附局ハ土地銀行ノ狀況ニ付キ時々検査ヲ爲シ報告ヲ徴シ其ノ成績ヲ發表シ、又耕作地ノ鑑定ヲ爲サシメ、又農地貸附組合若クハ土地銀行ノ爲メニ割賦償却率表ヲ作製スルノ任務ヲ有スル(同條^(三))。次ニ又農地貸附局ハ時々貸附法ノ主要事項ヲ示ス可キ報告書ヲ調製シ、之ヲ新聞紙農業雜誌及ビ農業機關ニ頒布シ、又割賦償却農地貸附金ノ性質利益及ビ貸附法ニ依リテ債務者ノ受クル保護ヲ明カニシ、農業者ヲシテ農地貸附組合ヲ組織シ之ヲ利用スルノ方法ヲ熟知セシメ、他方投資者ニ對シテハ農地貸附證券ノ效力及利益ヲ周知セシム可キ小冊子ノ作製頒布ヲ爲ス可キモノトセラレテアル(同條^(四))。次ニ土地銀行ニ關シテハ、農地貸附局ハ事情ノ許ス限り全合衆國ヲ十二ノ管區ニ分割シ、之ヲ

以テ土地銀行管區ト爲シ、各管區ハ農業資金ノ需要ニ適合スル如クニ之ヲ定メ、然カモ一州ノ一地方ト他州ト相誇ルガ如キコトナカラシム可キ様之ヲ定ム可キモノトナツテ居ル(第四條^(二))。而シテ此ノ各管區内ニ各々一個ノ土地銀行ノ設立サル可ク、同一管區内ニハ支店ヲ置クコトヲ得ルモノトセラレ(同條^(三))、土地銀行ノ事務ハ農地貸附局ノ任命スル五名ノ理事ニ依ツテ一時處理セラル可キモノトスル(同條^(三))。此ノ臨時理事ハ遲滞ナク土地銀行ノ設立ニ關スル目論見書ヲ作製シ、其ノ目論見書ハ登記裁判所若クハ公證人ノ公證ヲ受ケタル後、農地貸附委員長ニ送附サレ委員長ハ之ヲ登錄シ保管ス可キモノトナツテ居ル(同條^(四))。而シテ此ノ目論見書ニシテ正當ニ作製セラレ所要ノ條件ヲ充タストキハ當該銀行ハ其目論見書實行ノ日ヨリ法人格ヲ取得スル(同條^(六))。斯クテ土地銀行ニ於テ下文ニ依リ特許セラレタル農業貸附組合ノ株式引受高十萬弗ニ達シタルトキハ理事及ビ役員ヲ選舉シ新タニ選舉サレタル理事及役員ハ前記ノ臨時理事ヨリ土

地銀行ノ事務ヲ繼承ス可キモノデアル(同條七)。
土地銀行ノ理事ノ任期ハ二ケ年トシ人員九名ノ
内六名ハ之ヲ地方理事ト稱シ農地貸附組合ヨリ
選出シ、他ノ三名ハ管理理事ト稱シ農地貸附局
ニ於テ之ヲ任命シ公益ヲ代表スル(同條八)。理事
ハ少クトモ二ケ年間其ノ選舉セラル可キ管區内
ニ居住シタルモノナルコトヲ要シ且ツ管理理事
ノ内少クトモ一名ハ實際上農事ノ經驗ヲ有シ任
命ノ當時其ノ管區内ニ於テ實際農業ニ從事シタ
ルモノナルコトヲ必要トスル(同條九)。

次ニ土地銀行ノ資本ハ、其ノ業務ノ開始ニ當リ
テ七十五萬弗以上ノ公稱資本應募額ヲ有セザル
可ラザルモノトセラレ(第五條)。公稱資本ハ一
株ニ付キ五弗宛ニ分割シ、個人商會會社又ハ合
衆國及各州政府ニ於テ之ニ應募シ所持スルコト
ヲ得ルモノトナツテ居ルガ(同條二)、農地貸附組
合ノ所持スル株式ハ之ヲ移轉シ又ハ擔保ニ供ス
ルコトヲ得可カラズ、證券面ニモ其旨ヲ明記ス
ルヲ要スルトセラレテアル(同條三)。而シテ合衆
國政府ニ於テ所有スル土地銀行ノ株式ニ對シテ

ハ配當ヲ爲サズ其他ノ株式ニ對シテハ平等ノ配
當ヲ爲スモノトセラレ、又農地貸附組合及合衆
國政府ハ株主總會ニ於ケル一切ノ議決ニ關シ株
式一個ニ付キ一票ノ議決權ヲ有スルガ、其他ノ
株主ハ票決權ヲ有タヌノデアル(同條四)。土地銀
行ノ株式應募金額ガ七十五萬弗ニ達セザルトキ
ハ合衆國政府ハ其ノ不足額ヲ引受ク可キモノト
ナツテ居ル(同條五)。

次ニ土地銀行ガ貸附ヲ爲スニ當ツテハ其ノ貸附
ハ當該管區内ニ於ケル耕作地ヲ以テ一番抵當ト
シテ登記シタル擔保ニ對スルニアラザレバ之ヲ
行フコトガ出來ヌ(第十二條第一)。而シテ右ノ抵
當貸附契約ニハ毎年若クハ每半ケ年ニ一定ノ回
數ノ割賦償却法ヲ以テ貸附ノ返済ヲ爲ス可キ合
意契約ヲ包含ス可キモノトナツテ居ル。此ノ割
賦金ハ一貸附ヲ爲セル土地銀行ガ最近發行ノ農
業貸附證券(附シタル利子ヲ超過セザル步合ノ
貸附料)ニ未償還元本ニ對シ一ケ年ニ付キ一分ヲ
超過セザル取扱手數料及利益(右ノ二項ヲ合シ
タルモノガ抵當貸附ノ利子ヲ構成スル)(二)五年

以上五十年以下ノ任意ニ取極メタル期間内ニ返還スル爲メ元本償却ニ充當サル可キ金額ヲ以テ成ルノデアル(同條第二)。然リ而シテ抵當貸附ニハ割賦支拂金ヲ除キ一ケ年六分ヲ超過スル利子ヲ附スルコトヲ許サレヌ(同條第三)。貸附ハ左ノ目的以外ノモノニ對シテハ之ヲ行フコトヲ得ザルモノデアル。イ農業ニ使用ス可キ土地ノ購入ニ充ツルコト、ロ抵當トセル耕地ノ正當且固有ノ耕作ニ必要トスル農具肥料及ビ家畜ノ購入ニ充ツルコト、ハ耕地ノ改良ニ充ツルコト、ニ農地貸附組合ヲ組織シタル當初ニ於テ其ノ地方ニ既存シタル土地抵當貸附ニ對スル債務者ノ債務又ハ茲ニ列記セル目的ニ附隨シテ發生シタル債務ノ辨濟ニ充ツルコト(同條第四)。而シテ右ノ貸附ハ抵當トスル土地價格ノ五割及ビ土地ノ永久保險附改良價格ノ二割ヲ超過ス可カラザルモノトセラレテアル(同條第五)。而シテ又貸付ハ農地貸附組合又ハ其ノ代理店ヲ經由シテ爲ス以外ノ抵當貸附ハ之ヲ爲スヲ許サレヌノデアル(第十四條第二)。

土地銀行ハ農地貸附局ノ認可ヲ經テ農業貸付證券ヲ賣出スコトヲ得ルモノトセラレ(第十三條第一)、其ノ形式トシテハ債券ハ二十五弗、百弗、五百弗及ビ千弗ノ四種ノ額面ノモノトシ、發行後五ケ年後ニ償還又ハ買入償却ス可キモノトセラレ、各債券ニハ每半ケ年ニ支拂フ可キ利札ヲ附ス可シトセラレテアル(第二十條)ガ、其ノ發行ハ資本金及ビ剩餘金合計高ノ二十倍ヲ超過スルヲ得可カラザルモノトナツテ居ル(第十四條第四)。而シテ尙ホ土地銀行ハ當該管區内ニ存スル一番抵當タル資格ヲ有スル耕地ヲ購入シ所有スルコトヲ許サレ(第十三條第二)、合衆國公債ヲ買入レ又ハ賣却スルコト(同條第八)又利子付キノ資金ヲ借入ルルコト(同條第七)等ヲ許サレテアルガ、自行ノ株主タル以外ノ者ヨリ當座預金ヲ受クルコト又本法ノ明文ヲ以テ許シタル以外ノ銀行業務其他ノ業務ハ之ヲ行フヲ得ザルモノ(第十四條第二)トナツテ居ル。

最後ニ農地貸附組合ト稱スル團體ハ耕地ヲ抵當トシテ資金ノ借受ヲ爲サントスル者ヲ以テ組織

サルル(第七條)ノデアツテ、此等ノ者ハ組合ヲ組織スル目的、組合ノ業務ヲ營ム可キ區域、業務ノ取扱規定等ヲ定款ニ作製ス可キモノトセラレ、實第三項ノ組合ハ國立銀行ノ理事ト同一ノ任期ヲ有スル五名以上ノ理事ヲ選舉スルコトトナシテ居ル(同條)。而シテ今農地貸附組合ニ於テ其ノ組合員ニ對シ當該管區ノ土地銀行ヨリ一番抵當ニ對スル貸付ヲ受ケントスル場合ニハ、其ノ貸付額ノ五分ニ相等スル金額ヲ以テ當該土地銀行ノ株式ノ引受ヲ爲ス可キモノトセラレ、此ノ引受金額ハ土地銀行ノ貸附金ノ内ヨリ正貨ヲ以テ支拂フ可キ規定ニナツテ居ル(同條(三))。而シテ土地銀行ハ右ノ株券ヲバ其ノ貸附金返済ニ對スル擔保トシテ自己ノ手許ニ保管ス可キモノトセラレテアルノデアル(同)。

次ニ農地貸附組合ノ資本金ニ就イテ見ルニ、其ノ持分ハ一口ニ付キ五弗トナシ、各組合員ハ總會ニ於ケル一切ノ議決ニ關シ持分一口ニ付キ一個ノ票決權ヲ有シ、組合員ノ有シ得可キ最大投票數ハ之ヲ二十個トスル(第八條(三))。而シテ耕

地ヲ抵當トスル借受人以外ノ者ハ農地貸附組合ノ組合員タルコトヲ得ヌノデアツテ(同條(三))、農地貸附組合ヲ經テ耕地抵當ノ資金借受ヲ得ント欲スル者ハ、其ノ借受希望額ノ五分ニ相當スル金額ヲ以テ當該貸附組合ノ持分ヲ引受グ可キ義務ヲ有シ、其ノ引受金額ハ貸附ヲ受クル際ニ正貨ヲ以テ拂込ム可キモノデアル(同條(三))。而シテ尙ホ農地貸附組合ハ其ノ定款ニ於テ、組合員ニ對スル貸附金ノ増加ヲ計ル目的ヲ以テ時々資本金ノ増加ヲ爲ス可キコトヲ規定ス可キモノトセラレテアル(同條(四))。

四 右ハ米國聯邦農地貸附法ノ骨子ト見ル可キ規定ノ概要デアルガ、尙ホ此他ニ組織及ビ事務ニ關スル多數ノ詳細ナル規定ガ設ケラレ、頗ル細密ナルモノデアル。其ノ全文ハ帝國農會報第六卷第十二號第七卷第一號及ビ第二號ニ渡シテ譯出セラレテアルカラ、必要ノ向ハ就イテ覽ラレムコトヲ希望スル。然シ右吾人ノ紹介シタル所ダケニ就イテ之ヲ見ルモ其ノ甚ダ用意周到ナルモノタルコトハ之ヲ窺知スルニ足リル次第デ

3) 以上貸附法ノ規定ハ凡テ帝國農會報所載ノ條文ニ據ル(同誌第六卷第十二號、第七卷第一、第二號)

アツテ、先ヅ組合ノ精神ヲ容レ貸附組合ヲ組織スルコトヲ條件トシテ貸附ヲ行フ可キモノトシ、然カモ其ノ組合ハ必ズ土地銀行ノ株主トナル可キモノト定メテ兩者ノ利害ヲ一致セシメ、又貸附ハ一番抵當ニノミ限リテ之ヲ行フヲ許スコトトスルガ上ニ、更ニ其ノ貸附歩合ハ抵當物タル土地ノ價格ノ五割以上ニ出ズル能ハザルモノトシテ専ラ貸附ノ安全ヲ計リ、然カモ其ノ貸附ハ資金ガ農地ノ購入改良等所謂生産資金トシテ用ヒラルル場合ニ限り行ハル可キモノト定メテ、貸附ノ濫用ヲ防ギ消費貸借ヲ避ケタルガ如キ、更ニ又土地銀行ノ組織及ビ業務ニ關シテ十分ナル制限ヲ加ヘ、之ニ公益的ノ性質ヲ與フルニ注意シ、政府ノ監督ヲ十分ニスルヲ得ルガ如キ仕組ヲ立テ、又其ノ業務ノ危險ニ陥ルナキヤウ業務ノ範圍ト貸借ノ限度トヲ定メタルガ如キ、最後ニハ又農地貸附局ヲ特別ニ設置シテ然カモ之ヲ大藏大臣ノ直管トナシタルガ如キ、要スルニ新貸附法ハ法令トシテハ好ク整ツタモノト云ハナケレバナラス。

吾人ハ北米合衆國ニ此種ノ整備セル農地貸附法ノ制定セラレタルヲ同國ノ爲メニ慶賀スル者デアルガ、此ノ上ノ問題トシテ其ノ實行上ノ成績ノ如何ニ表ハレ來ル可キカハ、一ニ土地銀行ノ理事者タル者ノ手腕ト貸附組合ヲ組織スル農業者ノ誠意トニ繋ガル所デアツテ、其ガ十分ナル效果ヲ上ゲ法ノ整ヘルニ耻ヂザル好成績ヲ上グル迄ニハ、幾多ノ困難ノ表ハレ來リ幾多ノ支障ノ生ジ來ルコトデアラウガ、ソノ速ニ成功セムコトヲ希望セザルヲ得ナイ。而シテソレニ就ケテモ、我國ノ問題トシテ農地貸附ノ方面トノミ謂ハズ一般ニ農業信用ノ制度ト農業金融ノ機關トガ、法令ノ上ニ於テモ實際ノ上ニ於テモ今少シク有效ノモノトナリ、今少シク美事ナル果實ヲ上ゲテ、此點ニ於テハ米國ニ對シテハ一日ノ先輩タルノ名ニ反カザルヲ期シタキモノデア